

三年生を送る会

二月二十四日(水)にティアラ
こうとうにて三年生を送る会が行
われました。三年生を送る会では
音楽部の演奏・一年生の音楽選択
の生徒による合唱・音楽選択と先
生方による歌・ダンス部による発
表・余興有志・三年生の先生方
による歌・スライドショー・三年生
から在校生に向けてのメッセージ
などがありました。



音楽部の演奏は、「青いベンチ」

と「虹」でした。どちらの曲も前向きに
なれるような演奏でした。一年生の音楽
選択と音楽部による「あすという日が」
は一年生が一生懸命歌っており、とても
良い合唱でした。そのあとの音楽選択と
音楽部と全教員による「贈る言葉」は三
年生を送り出すのにふさわしい歌でし
た。校長先生の指揮による音楽部の演奏
もとても合っていて素晴らしい歌でし
た。皆が知っている歌だったからこそス
テージに立っていない生徒も一緒に口ず
さんでいました。

ダンス部の発表では四グループに分か
れダンス発表をしました。どのグルー
プもとても恰好よかったです。三年生の先
輩方が抜け、一年生と二年生だけとなり
今までは違って新たな気持ちで今回の
三送会に臨んでいるように感じました。
二年生はこれからダンス部を引っ張って
いってくれるような力強いダンスでし
た。一年生は二年生に負けないように精
一杯踊っているように感じました。十二
分という短い時間ではありましたが、皆
さんが盛り上がり楽しんだダンス部の発
表でした。

余興有志では、今回は五つのグルー
プの方々が参加してくださいました。今回



の余興有志では、主に二年生・三年生の
方々が参加してくださいました。どのグ
ループも盛り上がり、素敵に演奏
や歌声など本当に素晴らしい余興有志で
した。先生方と歌ったり、ボイスパーカ
ッションとアカペラでの歌にハモリを入
れたり、二年生と三年生が組んで出たグ
ループでの演奏などがありました。

余興有志の後の三学年教員による歌
「ひまわりの約束」では三年生だけでな
く一年生も二年生も楽しめたのではない
でしょうか。三学年の先生方も心を込め
て歌ってくださいました。心がこもって
いるからこそ三年生の先輩方には先生方
からの想いが伝わったのではないと思
います。

スライドショーでは三年生の先輩方に
喜んでもらえるようなものが出来て良か

ったと思います。一年生にも二年生にも
楽しんでもらえたのではないでしょう
か。先生方の写真だったり部活動での写
真、知ってる先輩が写った写真など三年
生とは少し違った見方で楽しんでもらえ
ていたら嬉しいですね。

最後になりますが、今回の三年生を送
る会も素晴らしい会となり、気持ちよく
三年生を送り出すことが出来たと思いま
す。三年生を送る会が成功したのはステ
ージに出てくれた方々、先生方、そして
生徒の皆さんのおかげです。心より感謝
しています。来年度の三年生を送る会
でも協力よろしくお願いします。



生徒会役員からのコメント

会長 瀬戸下 桂香

生徒徒会になって初めての学校行事、三年生を送る会が先日行われました。運営に携わった生徒会役員や発表関係者の皆さん、先生方、本当にありがとうございました。

生徒会が三年生を送る会に向けて本格的に動き出したのは、二学期の期末考査後からでした。冬休みも学校に来て準備や会議を行いました。生徒徒会になってまだ間もなかったこともあり役員の間には距離がありました。しかし、三学期が始まると準備も着々と進み役員の間にあった距離も自然と無くなり、本番では全員で協力し合い運営を行い、無事に終えることができました。

私は三年生を送る会の運営が今回で二回目でした。今まで行ってきたことに加えて皆さんをまとめ指示を出すという役目が増えました。失敗をすることもあり、指導されることもありました。辞めたいという気持ちが生まれてきてしまった時、他の生徒会役員に『会長がいなくなったら困ります。』と言われたこともありました。その言葉を言われてから、私は会長であるという自覚がさらに強まり、私なりにしっかりと役員をまとめていきました。上手く会長としてみんなをまとめられていたか不安ですが、みんながいたから無事に運営を行うことができ、私は会長として少し強くなれたような気がしました。

来月からは年度が替わり皆さんの学年は一つ上になります。昭和生であるという自覚を持ち、残りの学校生活を悔いの無いように過ごしていってほしいです。

学芸委員長 野口 征宏

今回の三年生を送る会は私が生徒会役員になって初めての大きな行事でした。当日まで色々な問題や課題などの壁がありましたが、なんとか成功させることができました。

初めて三年生を送る会に、参加者以外の立場で参加しました。正直、忙しくとも少しは休む時間があると思っていたのですが、現実はその甘くありませんでした。自分の身体が二つや三つでは足りない程度だったと思います。そんなこともあり、当日は一日が早く一瞬で過ぎていった気がします。そんな三年生を送る会の中で、新しく思うことや改めて感じたことがありました。

それは、三年生を送る会当日とそれまでの準備の間に私は『人の助けはとても心強い』と改めて感じたことです。学校やテレビで『人は一人では生活出来ない』などの言葉をよく耳にします。私も頭の中では理解していたつもりでしたが、実際に体験してみると得るものや感じるものは想像以上の事でした。今の年齢でこのような体験が出来たことは、私にとってもとてもプラスになったと思います。また、このような体験をこれからはしていくと思います。その都度で感じることは違うと思いますが、その一つ一つは私にとってかけがえのないものです。そして、若いうちの豊かな感性で様々なことを感じていきたいです。

学芸副委員長 板垣 大慈

平成二十七年三度三年生を送る会は、たくさんの方々の支えがあつて無事に成功させることができました。ありがとうございます。

私も含め一年生にとって初めての三送会は、わからないことばかりでした。まずある程度の内容を知ろうと先輩方が残してくださった昨年度のプログラムを見てみると、面白そうな単語がいくつも見つかりました。「余興有志」「シークレット」「弾き語り」「音楽部演奏」「ダンス部発表」と、数えきれないほど出てくる面白そうなプログラムの単語ひとつひとつに考えを巡らせ、どんな発表なんだろう、どんな感動が待っているんだろうと、一人で二月二十四日への期待を募らせていました。しかし、打ち合わせや生徒会内で会議をするにつれて、先輩方、先生方も私と同様に、いやそれ以上に「三年生を気持ちよく送ってやるぞ」という熱意を持っているのだと、行事に対する真摯な姿勢を見て気づかされました。

音楽部、ダンス部、余興有志の方々、一年の音楽選択クラスのの方々、三年生教員の方々の素晴らしい発表と、在校生の方々の協力や卒業生の方々が残してくださった伝統、先生方の的確なバックアップのおかげでこの三送会を成功させることができました。本当にありがとうございます。今年度の反省点と成功点を来年度の三送会に活かして、これからもよい良い行事を作ること目標に頑張っていきたいと思います。

第二十六回 定期演奏会

十二月二十日（日）の午後二時より、江東区文化センターにて昭和第一高等学校（音楽部・PTA・同窓会・昭和会）による、第二十六回合同定期演奏会が行われました。

オープニングでは吹奏楽による「SDHマーチ」が演奏され、華やかに演奏会が始まりました。その後は女声・男声合唱、弦合奏、吹奏楽、合同演奏の順で発表が進んでいきました。最後の演奏が終わると、観客席から大きな拍手が沸き起こり、会場全体にいつまでも拍手が鳴り響いていました。

三年生にとって、この定期演奏会が最後の大きな発表の舞台でした。一年生、二年生には三年生と練習した日々を忘れず、新入生と共に頑張っているってほしいです。



↑吹奏楽演奏時の写真

音楽部部长 堀田 修平（2E）

部長として自分に出来ることはあるのかとずっと考えていました。何をやっても中途半端な結果しか出せない自分の行動や指示は、部員の方々に迷惑をかけてしまっていたからです。そんな時にアドバイスをして下さったのは先輩方でした。

やるべきことや、どうやって部活をまとめていけば良いのかを教えてくださいました。それでも力が足りず失敗してしまうこともありました。

そんな中で始まった定期演奏会の準備はとても大変なものでした。前半とは違い、必要な資料や表を作成しなければならなかったからです。演奏する曲を練習しながらの作業だったので、少々きつかったのを覚えています。ですが、副部長さんの助けのおかげで乗り越えることができました。

そして迎えた定期演奏会当日は、あつという間に終わってしまったというのが率直な感想です。同時に、先輩方との最後の合奏が終わってしまい、寂しいと思いました。この日の為だけに練習してきた曲の一つ一つが先輩方との大切な思い出となりました。これからは自分たちがそのような先輩になっていかなければならないと思うと、今から不安でいっぱいですが、受け継いできた数々の物を先輩に伝えるために全力で努力していきたいと思います。そんな気持ちを強く心に刻んだ定期演奏会でした。

ゴルフ部活動報告

ゴルフ部部长の二年B組関のかさんが、十二月二十五日に行われた「石川遠カップジュニアゴルフチャンピオンシップ予選大会」にて、準優勝という輝かしい成績を残しました。

十二月二十六日から二十九日に行われる決勝大会に出場されました。順位は惜しくも上位に入賞することはできませんでしたが、昭和のゴルフ部を代表するプレーを魅せてくれました。

ゴルフ部部长 関のか（2B）

大会に出場するにあたって、選手たちがどれだけ精神を削り、時間を費やしているのかを理解していただけたら嬉しいです。

私は学校が終わった後に練習を必ずしている。週五で三時間の練習と毎日一時間のパター練習をしている。休みは朝五時に起きて、午後三時までゴルフをやる日もある。学校で勉強もしなければならぬので、考えるとハードだと感じる。だが、大会に出場している選手はそれを聞いて驚く。

「学校に行ってるの？」と。周りの選手は学校に行かず、日が昇ってから日没まで練習をしている選手が多い。プロにも「それではツアープロには到底なれない」と必ず言われる。こんな体験をしている人は少ないと思うが、どのスポーツもこんな感じだと思う。

努力しても足りないと言われる中、試合に出続けて今がある。大会には色々なタイプの選手がいるが、性格のキツイ選手が大半だ。一打で勝敗が決まるシビアな世界で、選手はまず自分のいる組の中で一位を目指す。同じ組で他人が成功して喜んでくれる人もいるが、他人の失敗を喜ぶ人の方が多い。それに、強い選手にお人よしいはない。今回の大会で、私の組にはそんな人はいなかったが、いるとリズムが崩れるほどゴルフは繊細な競技だ。

二月二十六日からの全国大会に向けて、恥のないよう戦っていききたいと思う。

生徒会 今後の予定

今年度の学校行事は、全て終了いたしました。来年度の学校行事に向けて生徒会は準備を始めています。そこで今後の生徒会の活動を簡単に紹介します。

四月には新入生オリエンテーションがあります。これは新入生に向けた行事です。主に生徒会と部活動の紹介や入部届の提出の仕方、行事運営委員会などの自治活動の紹介をします。

五月には新一年生が入学して初めての大きな行事である「体育大会」があります。来年度も今年度同様、『江戸川陸上競技場』で行う予定です。

九月には「昭和一高祭」があります。生徒会は受け付けや展示を行う予定です。その他に模擬店や各クラスの展示などもあります。今年度の反省・成功点を活かして今年度より成長できるように頑張っていきます。

そして最後に来年の二月に「三年生を送る会」があります。三年生との最後の行事です。来年度も外部施設で行う予定です。

今後とも生徒会へのご理解とご協力よろしくお願いいたします。



在校生の皆さんへ

三月五日（土）に卒業証書授与式が行われました。そして三年生は卒業しました。三年生がいなくなってしまう不安などそれぞれ思うことは違うと思いますが、これからは現在の一年生と二年生がこの昭和第一高等学校を引っ張っていかなければいけません。三年生の先輩方が築いてきた伝統を引き継ぐだけでなく、一・二年生らしさを出しながらこの昭和第一高等学校をより発展させていきますよう。

四月からは学年が一つずつあがり一年生は二年生になり、新一年生が入ってきます。新一年生のお手本となりつつ二年生の一年間を楽しんでください。文理に分かれ新たなクラスになり体育大会や一高祭そして修学旅行など行事がたくさんあります。修学旅行は高校生活の中で最も楽しく思い出に残る行事なので全力で楽しんでほしいです。たくさん思い出を作ると同時に授業や家庭学習にもしっかりと取り組んでほしいです。二年生が終わればすぐに受験生になります。三年生になってからは遅いので今からコツコツと積み重ねていってください。二年生は三年

生になります。とうとう卒業後の進路を決める年です。この一年間つらい日々が続くと思いますが、自分の行きたい大学や専門学校、企業などに進むために勉強に励んでください。つらい時には友達と励まし合い一年間を乗り越えてください。最後の一年間にそれぞれの思いを出を作り、「昭和第一高校に入り、充実した三年間を過ごせてよかった」と笑顔で卒業できるようにしていきましょう。

昭和第一高等学校が今後どうなっていくのか、どう変化していくのかは誰にもわかりませんが、今私たちは生徒は高校生として様々なことに挑戦できる年代です。失敗もあると思いますが、その失敗を糧にして高校生活をさらに良い方向に向かっていけると思います。昭和第一高等学校での生活をより良いものにするのは私たち生徒自身です。これからも生徒会活動にご理解とご協力をよろしくお願いします。

取材・編集

生徒会書記

中村 帆花
清水 萌